

留学計画 タイトル	世界につながるSAGAの多文化共生を目指して		
大学名等	佐賀女子短期大学 キャリアデザイン学科	学 年 (採用時)	2 年
採用年度	2017年度	留 学 期 間	約4ヶ月間 (2017/9/11~2017/12/29)
留 学 国	カナダ・バンクーバー	留 学 先 関 機	ILAC/Nikkei Place
事前・事後インターンシップ先機関	NPO法人 地球市民の会		

留学について

目的：

佐賀に暮らす留学生が留学後も佐賀で働き、定住してもらうことで佐賀のグローバル化、地域活性化に繋げたい。

そこで、多民族国家であり、世界でも留学生が多いとされるカナダ・バンクーバーで留学生へのアンケートを行う。その結果を集計し、生活満足度の要因を調査する。

活動内容：

・アンケート調査

対象:カナダ在住の留学生97名

場所:大学、図書館、デパートや通りなど人が多い場所

方法:聞き込み

内容:生活・食事・交通機関の満足度、人や地域との関り
(計15問)



アンケート調査

・ILAC(語学学校)3ヶ月 英語の授業を履修



語学学校の卒業式

・ボランティア活動

長期:Nikkei National Museum and Cultural Centre
(日系カナダ人団体)

短期:ファンディングパーティー、日本酒フェスティバル
クラフトフェスティバル、出版発表会、
アニメフェスティバル、クリスマスパーティー



クリスマスカード作り

成果：

留学先では自己活動として、留学生へのアンケート調査とボランティア活動を行いました。アンケートはカナダに住む97名の留学生に協力してもらいました。集計の結果、食事や交通機関は留學生活の満足度に影響をもたらしていることが分かりました。移民国家であるカナダは多様な食文化を形成しており、スーパーにはベジタリアンや宗教に考慮された食材が豊富です。また交通機関も充実しており、特にバスは路線も多く、他の交通機関に比べると安価です。このことから学生にとっては便利なだけでなく、経済的な面でも利用しやすいといえます。さらに人との関りが満足度との関連性があることが分かりました。人との関りが少ない人程、満足度が低く関りが多い人ほど、高い結果となりました。

さらに、母国同士よりも他国同士の関りのある留学生が生活の満足度が高く、また留学後も留まることを計画している学生が多い傾向にあることがわかりました。

帰国後は、留学での経験を活かし、留学生と小学生を交流イベントを企画実施しました。またインターンシップでは外国人コミュニティーに参加させてもらい、佐賀での取り組みや活動を学ぶことができました。今後もボランティアや国際交流に積極的に取り組み地域と外国人が輪が歩み寄れるような働きかけを行いたいと思います。

伝えたい事：後輩たちへ

日本を飛び出してみると、そこには見たことのないワクワクする景色があります。日本とは違う文化や価値観をそこで生活しながら学ぶ、こんな経験は学校の授業では体験できません。“留学”だからこそこできる“学び”だと私は思います。日本を出て世界で学んだ経験は今の私の自信にも繋がっています。皆さんの挑戦を応援しています！

伝えたい事：支援企業の皆様へ

トビタテ留学JAPANは自分に対してのチャレンジでした。インターンシップや海外での自己活動は初めてのことで失敗もたくさん経験しました。しかしそれでも諦めずチャレンジできたのはこの留学を応援してくださった企業の皆様のご支援があったからです。

微力ではありますがこの留学経験を活かし、地域活動に取り組みたいと思います。

事前・事後インターンシップ

受入機関名 NPO法人 地球市民の会

期 間 事前： 2017/6/8 ～ 8/31 (22日間)

事後： 2018/1/17 ～ 1/31 (7日間)

内容： 事前インターンシップ：タイの留学生と大学生の交流企画、
「ふるさとステイ」子供キャンプ企画・運営
事後インターンシップ：「TOMODACHI 100 プロジェクト」日中韓学生交流
料理交流会補佐